

## 地域内交通(福祉に)に関する資料

### たすけ愛号運行について

- 1, 実績：平成21年スタート 令和7年で16年目になる
- 2, 内容：波多地内で運行し地区外は他の交通機関へつなぐ役割
- 3、利用回数：年間1800回（往復を2回と換算）
- 4、利用目的
  - ①買い物
  - ②商品のお届け
  - ③他交通機関への送迎（飯南バスの利用して頓原・掛合方面）
  - ④波多出張診療所への送迎
  - ⑤金融機関の利用（郵便局）
  - ⑥波多コミュニティ協議会行事の送迎利用
  - ⑦避難所開設利用
  - ⑧選挙投票での利用
  - ⑨友人・知人宅へとの交流
  - ⑩ワクチン接種便
  - ⑪マイナンバーカード交付手続き
  - ⑫理容店への送迎
  - ⑬高齢者団体（グループ）活動
  - ⑭波多温泉
  - ⑮その他



## 5, 効果

- ① 交通弱者への利便性確保
- ② いつでも利用（移動）できる安心感の醸成
- ③ 地区内移動による交流促進
- ④ 住所の見守り活動（所在確認）



## 6, 想定外の効果

- ① 車内での語らいの場
- ② 新たな問題点の発見（家庭の様子や本人の健康状況）
- ③ ミニ困りごと相談の場
- ④ 住民の見守り

## 7, 今後の課題（求められている内容等）

- ① 日曜・土曜・祝日の利用（波多交流センター休館の時）
- ② 地区外への相互乗り入れ（入間・穴見）
- ③ 運行時間の延長（特に夏季において波多温泉等）
- ④ イベント時の運行（休日開催の祭り・神社お寺行事）

## 8, 運行経費の確保

- 運転手は主に交流センターに勤務する職員がおこなっている  
時には、役員で対応している

- ① 人件費 1,000 円/時間以内（実際には支払いは無し）
- ② 燃料費 100,000 円/年間/以内
- ③ オイル経費 20,000 円/年間/以内
- ④ 保険（車両保険込み）100,000 円/以内/年間
- ⑤ 原価償却費（車両費 2,000,000 円）7 年  
推定年間 300,000 円程度
- ⑥ タイヤ交換（冬季タイヤ）60,000 円/3 年
- ⑦ 夏タイヤ交換 60,000 円/3 年程度

## 9、導入のきっかけ

波多小学校閉校後補助事業導入し波多地区の政策として

① 買い物 ・ ②交通 ③防災 ④産業 ⑤交流

の・・・5種類にまとめたこと

特に、交通については21年度に導入

## 10、波多地内の交通事情

①市営「だんだんタクシー」5便/日（土日休み）

掛合方面 300円

②飯南町バス2便（往復4便）出雲市方面 300円

③飯南町バス4便（往復8便）飯南町・掛合方面 200円

## 11、課題等

①公用車としての利用

④財源の確保

